

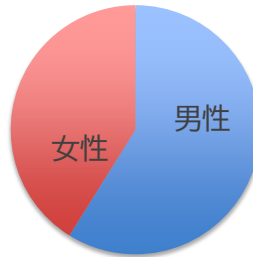
令和5年度 岐阜県公立小中学校教頭会基本調査結果

教頭人数	校種	教頭人数	教頭総数	複数教頭校数	学校数	学校総数
	小学校	380	603	33	344	527
	中学校	208		36	177	
	義務教育学校	15		6	6	

学校規模等

◇教頭の性別

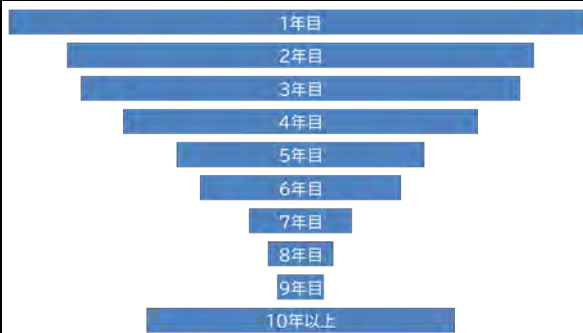
性別	人数	%
男性	355	58.9%
女性	248	41.1%
合計	603	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
108	56	42	36	72	41	355
77	66	23	31	32	19	248
185	122	65	67	104	60	603

◇教頭経験年数

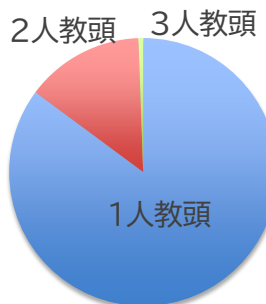
教頭経験年数	人数	%
1年目	125	20.7%
2年目	100	16.6%
3年目	94	15.6%
4年目	76	12.6%
5年目	53	8.8%
6年目	43	7.1%
7年目	22	3.6%
8年目	14	2.3%
9年目	10	1.7%
10年以上	66	10.9%
合計	603	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
29	30	8	13	36	9	125
30	19	11	11	21	8	100
31	20	13	13	8	9	94
25	16	7	9	11	8	76
15	13	4	6	7	8	53
16	5	6	3	8	5	43
7	4	3	2	2	4	22
5	1	4	1	2	1	14
2	4	2	1	0	1	10
25	10	7	8	9	7	66
185	122	65	67	104	60	603

◇複数教頭の有無

複数教頭	学校数	%
1人教頭	447	85.1%
2人教頭	75	14.3%
3人教頭	3	0.6%
合計	525	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
121	86	55	51	86	48	447
29	18	5	8	9	6	75
3	0	0	0	0	0	3
150	104	60	59	95	54	522

※0人教頭の学校が、2校あります。

◇生活状況

生活状況	人数	%
自宅	585	97.0%
単身赴任	16	2.7%
家族共赴任	2	0.3%
合計	603	100%

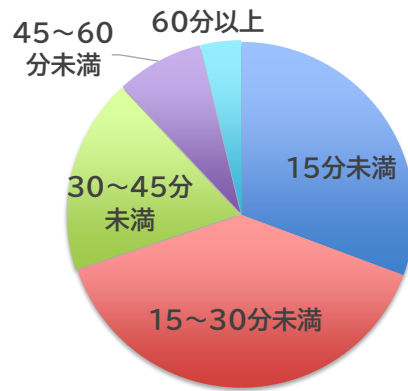


岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
184	122	64	66	94	55	585
1	0	1	0	9	5	16
0	0	0	1	1	0	2
185	122	65	67	104	60	603

1: 通勤について

◇通勤時間

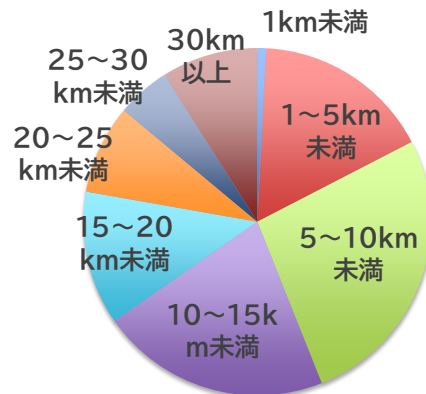
通勤時間	人数	%
15分未満	185	30.7%
15～30分未満	236	39.1%
30～45分未満	110	18.2%
45～60分未満	49	8.1%
60分以上	23	3.8%
合計	603	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
57	41	19	20	25	23	185
81	41	24	24	41	25	236
35	29	14	11	12	9	110
10	9	4	7	17	2	49
2	2	4	5	9	1	23
185	122	65	67	104	60	603

◇通勤距離

通勤距離	人数	%
1km未満	5	0.8%
1～5km未満	100	16.6%
5～10km未満	160	26.5%
10～15km未満	129	21.4%
15～20km未満	75	12.4%
20～25km未満	50	8.3%
25～30km未満	30	5.0%
30km以上	54	9.0%
合計	603	100%

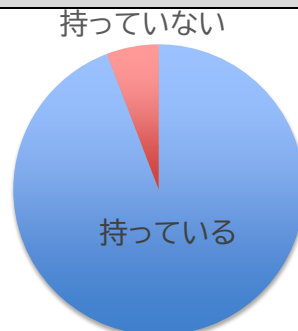


岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
2	0	1	1	1	0	5
38	18	6	15	11	12	100
57	36	17	19	19	12	160
52	28	9	8	20	12	129
22	16	10	7	11	9	75
7	15	8	6	10	4	50
5	5	7	1	9	3	30
2	4	7	10	23	8	54
185	122	65	67	104	60	603

2: 教頭の持ち時間数について

2-① 授業を持っているか

授業担当	人数	%
持っている	568	94.2%
持っていない	35	5.8%
合計	603	100%

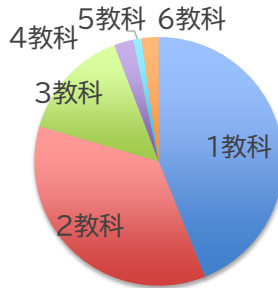


岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
161	120	60	64	104	59	568
24	2	5	3	0	1	35
185	122	65	67	104	60	603

2-② ある場合の教科数

◇<小学校>

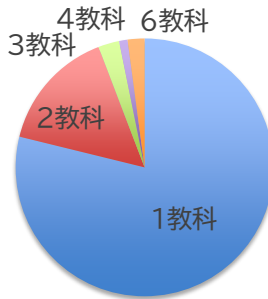
教科数	人数	%
1教科	159	43.9%
2教科	129	35.6%
3教科	53	14.6%
4教科	9	2.5%
5教科	4	1.1%
6教科	8	2.2%
合計	362	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
55	33	17	16	24	14	159
33	27	16	16	24	13	129
7	19	5	7	9	6	53
2	2	1	1	2	1	9
1	1	0	0	1	1	4
0	2	0	2	3	1	8
98	84	39	42	63	36	362

◇<中学校>

教科数	人数	%
1教科	149	78.8%
2教科	29	15.3%
3教科	5	2.6%
4教科	2	1.1%
5教科	0	0.0%
6教科	4	2.1%
合計	189	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
42	26	11	20	32	18	149
4	7	5	2	8	3	29
2	1	2	0	0	0	5
0	0	2	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0
2	2	0	0	0	0	4
50	36	20	22	40	21	189

◇<義務教育学校>

教科数	人数	%
1教科	6	42.9%
2教科	5	35.7%
3教科	2	14.3%
4教科	0	0.0%
5教科	0	0.0%
6教科	1	7.1%
合計	14	100%

岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
5	0	0	0	0	1	6
5	0	0	0	0	0	5
1	0	0	0	0	1	2
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	1
12	0	0	0	0	2	14

2-③ 週の持ち時間数

◇<小学校>

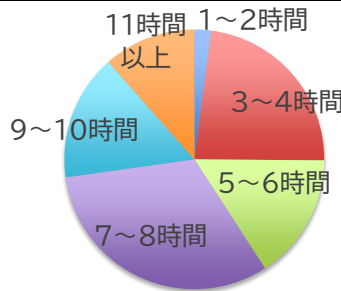
持ち時間数	人数	%
1~2時間	19	5.2%
3~4時間	70	19.3%
5~6時間	121	33.4%
7~8時間	79	21.8%
9~10時間	43	11.9%
11時間以上	30	8.3%
合計	362	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
9	4	2	3	1	0	19
29	14	6	10	8	3	70
30	29	12	15	26	9	121
14	21	9	10	18	7	79
5	7	7	4	7	13	43
11	9	3	0	3	4	30
98	84	39	42	63	36	362

◇<中学校>

持ち時間数	人数	%
1~2時間	4	2.1%
3~4時間	44	23.0%
5~6時間	30	15.7%
7~8時間	61	31.9%
9~10時間	30	15.7%
11時間以上	22	11.5%
合計	191	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
3	0	0	1	0	0	4
16	4	6	5	10	3	44
12	5	2	4	4	3	30
13	18	5	6	11	8	61
6	5	3	3	8	5	30
1	3	5	3	8	2	22
51	35	21	22	41	21	191

◇<義務教育学校>

持ち時間数	人数	%
1~2時間	1	7.1%
3~4時間	1	7.1%
5~6時間	3	21.4%
7~8時間	7	50.0%
9~10時間	0	0.0%
11時間以上	2	14.3%
合計	14	100%

岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
1	0	0	0	0	0	1
1	0	0	0	0	0	1
3	0	0	0	0	0	3
7	0	0	0	0	0	7
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	2	2
12	0	0	0	0	2	14

2-④ 授業を持っている故の問題(複数回答あり)

◇<小学校>

問題	人数	%		岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
急な来客等で授業にいけない	194	51.7%		53	50	16	19	38	18	194
授業観察など職員指導が十分できない	145	38.7%		42	32	10	9	30	22	145
生徒指導や発達障がい援助が十分できない	178	47.5%		53	42	17	9	37	20	178
事務が十分進まない	190	50.7%		57	46	17	15	35	20	190
その他	12	3.2%		4	3	2	3	0	0	12
合計	719	192%		209	173	62	55	140	80	719

◇<中学校>

問題	人数	%		岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
急な来客等で授業にいけない	80	37.6%		29	12	5	10	17	7	80
授業観察など職員指導が十分できない	77	36.2%		19	14	9	11	17	7	77
生徒指導や発達障がい援助が十分できない	67	31.5%		16	17	3	7	17	7	67
事務が十分進まない	94	44.1%		22	22	5	14	22	9	94
その他	3	1.4%		2	0	0	1	0	0	3
合計	321	151%		88	65	22	43	73	30	321

◇<義務教育学校>

問題	人数	%		岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
急な来客等で授業にいけない	8	53.3%		7	0	0	0	0	1	8
授業観察など職員指導が十分できない	4	26.7%		3	0	0	0	0	1	4
生徒指導や発達障がい援助が十分できない	6	40.0%		5	0	0	0	0	1	6
事務が十分進まない	9	60.0%		7	0	0	0	0	2	9
その他	3	20.0%		2	0	0	1	0	0	3
合計	30	200%		24	0	0	1	0	5	30

その他の記述(小中義合わせて集計)

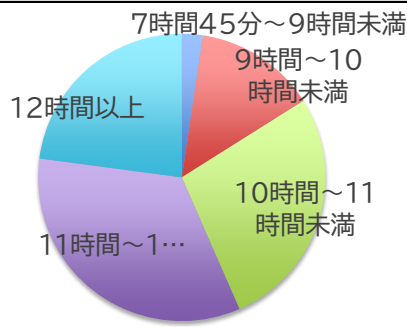
- 出張により授業の振替が必要になる(7)
- 教材研究が十分にできない(2)
- 他の業務の時間が不足する。結果、時間外勤務が増えた(2)
- 緊急対応時に授業ができない

3:教頭の勤務状況

3-① 1日あたりの平均勤務時間(5月中の1週間で)

小学校

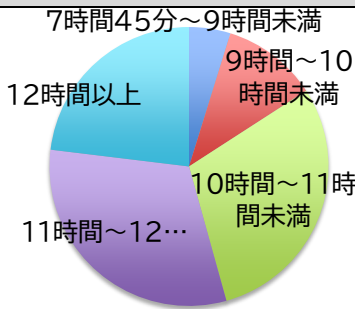
勤務時間	人数	%
7時間45分～9時間未満	9	2.4%
9時間～10時間未満	52	13.7%
10時間～11時間未満	104	27.4%
11時間～12時間未満	128	33.7%
12時間以上	87	22.9%
合計	380	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
1	5	1	2	0	0	9
10	13	9	6	9	5	52
25	24	15	12	16	12	104
38	31	8	15	23	13	128
36	13	9	8	15	6	87
110	86	42	43	63	36	380

中学校

勤務時間	人数	%
7時間45分～9時間未満	10	4.8%
9時間～10時間未満	23	11.1%
10時間～11時間未満	62	29.8%
11時間～12時間未満	65	31.3%
12時間以上	48	23.1%
合計	208	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
2	2	2	0	1	3	10
6	4	2	2	5	4	23
18	10	7	11	13	3	62
19	12	6	8	12	8	65
17	8	6	3	10	4	48
62	36	23	24	41	22	208

義務教育学校

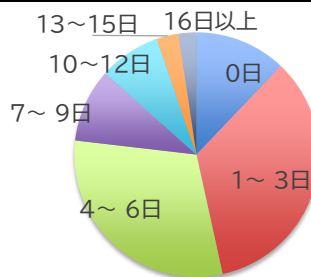
勤務時間	人数	%
7時間45分～9時間未満	0	0.0%
9時間～10時間未満	3	20.0%
10時間～11時間未満	5	33.3%
11時間～12時間未満	2	13.3%
12時間以上	5	33.3%
合計	15	100%

岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	3
3	0	0	0	0	2	5
2	0	0	0	0	0	2
5	0	0	0	0	0	5
13	0	0	0	0	2	15

3-② 本年度4～5月の週休日の出勤日数(1日4時間以上の出勤日数)

小学校

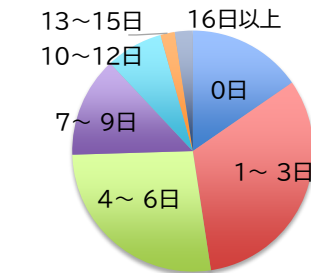
週休日の出勤日数	人数	%
0日	46	12.1%
1～3日	131	34.5%
4～6日	115	30.3%
7～9日	37	9.7%
10～12日	31	8.2%
13～15日	11	2.9%
16日以上	9	2.4%
合計	380	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
7	7	10	6	9	7	46
39	33	10	14	21	14	131
35	28	11	12	17	12	115
9	8	5	8	7	0	37
9	7	4	2	7	2	31
6	1	1	1	1	1	11
5	2	1	0	1	0	9
110	86	42	43	63	36	380

中学校

週休日の出勤日数	人数	%
0日	32	15.4%
1～3日	67	32.2%
4～6日	56	26.9%
7～9日	28	13.5%
10～12日	16	7.7%
13～15日	4	1.9%
16日以上	5	2.4%
合計	208	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
7	7	5	4	8	1	32
26	10	8	8	12	3	67
15	5	6	7	12	11	56
5	8	4	4	3	4	28
7	4	0	1	3	1	16
0	1	0	0	2	1	4
2	1	0	0	1	1	5
62	36	23	24	41	22	208

義務教育学校

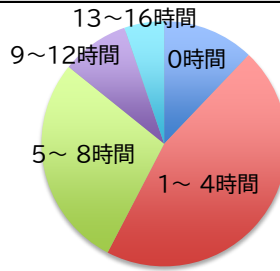
週休日の出勤日数	人数	%
0日	3	20.0%
1～3日	6	40.0%
4～6日	3	20.0%
7～9日	0	0.0%
10～12日	0	0.0%
13～15日	2	13.3%
16日以上	1	6.7%
合計	15	100%

岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
2	0	0	0	0	1	3
5	0	0	0	0	1	6
3	0	0	0	0	0	3
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	2
1	0	0	0	0	0	1
13	0	0	0	0	2	15

3-③ 補欠指導時間数(4~5月末日)

◇<小学校>

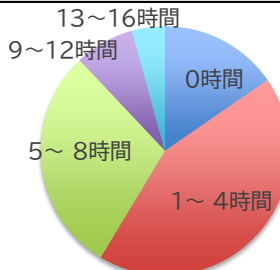
補欠に出た時間	人数	%
0時間	46	12.1%
1~4時間	173	45.5%
5~8時間	107	28.2%
9~12時間	34	8.9%
13~16時間	20	5.3%
17~20時間	0	0.0%
21時間以上	0	0.0%
合計	380	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
7	7	10	6	9	7	46
50	48	11	18	29	17	173
33	21	14	15	15	9	107
9	7	5	3	8	2	34
11	3	2	1	2	1	20
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
110	86	42	43	63	36	380

◇<中学校>

補欠に出た時間	人数	%
0時間	32	15.4%
1~4時間	90	43.3%
5~8時間	61	29.3%
9~12時間	16	7.7%
13~16時間	9	4.3%
17~20時間	0	0.0%
21時間以上	0	0.0%
合計	208	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
7	7	5	4	8	1	32
33	14	11	14	13	5	90
13	9	7	5	14	13	61
7	4	0	1	3	1	16
2	2	0	0	3	2	9
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
62	36	23	24	41	22	208

◇<義務教育学校>

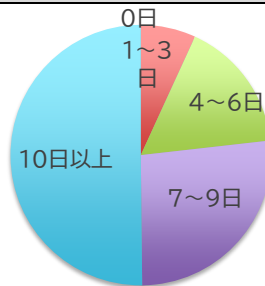
補欠に出た時間	人数	%
0時間	3	20.0%
1~4時間	6	40.0%
5~8時間	3	20.0%
9~12時間	0	0.0%
13~16時間	3	20.0%
17~20時間	0	0.0%
21時間以上	0	0.0%
合計	15	100%

岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
2	0	0	0	0	1	3
5	0	0	0	0	1	6
3	0	0	0	0	0	3
0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	3
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	2	15

3-④年次休暇(昨年度1年間)

小学校

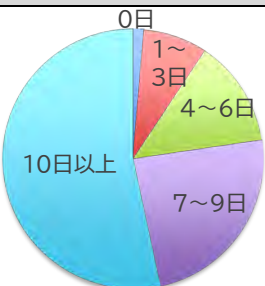
年次休暇	人数	%
0日	0	0%
1~3日	20	7%
4~6日	48	16%
7~9日	78	27%
10日以上	147	50%
合計	293	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
0	0	0	0	0	0	0
6	6	1	2	4	1	20
18	12	4	5	7	2	48
24	16	5	11	14	8	78
46	30	24	14	17	16	147
94	64	34	32	42	27	293

中学校

年次休暇	人数	%
0日	2	1%
1~3日	12	8%
4~6日	20	13%
7~9日	36	24%
10日以上	80	53%
合計	150	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
2	0	0	0	0	0	2
5	2	2	0	1	2	12
6	4	1	2	6	1	20
13	8	3	6	4	2	36
18	10	14	10	14	14	80
44	24	20	18	25	19	150

義務教育学校

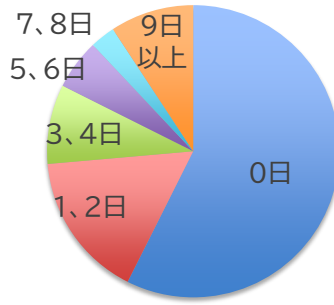
年次休暇	人数	%
0日	0	0%
1~3日	1	8%
4~6日	2	17%
7~9日	3	25%
10日以上	6	50%
合計	12	100%

岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	1
2	0	0	0	0	0	2
2	0	0	0	0	1	3
6	0	0	0	0	0	6
11	0	0	0	0	1	12

3-⑤(中学校のみ)部活動にかかわった日数(調査期間は、4月から5月末日まで)

(1)授業日にかかわった。

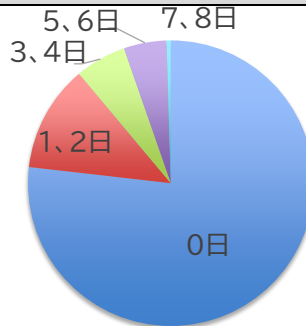
授業日にかかわった	人数	%
0日	124	57.4%
1、2日	35	16.2%
3、4日	19	8.8%
5、6日	12	5.6%
7、8日	6	2.8%
9日以上	20	9.3%
合計	216	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
40	22	14	15	23	10	124
10	8	4	3	7	3	35
6	3	2	3	3	2	19
2	1	2	0	5	2	12
2	1	0	2	1	0	6
3	5	3	2	3	4	20
63	40	25	25	42	21	216

(2)休業日にかかわった。

休業日にかかわった	人数	%
0日	159	76.8%
1、2日	25	12.1%
3、4日	12	5.8%
5、6日	10	4.8%
7、8日	1	0.5%
9日以上	0	0.0%
合計	207	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
47	26	18	19	37	12	159
9	7	3	1	4	1	25
2	1	1	3	0	5	12
4	1	1	0	0	4	10
0	1	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0
62	36	23	23	41	22	207

3-⑥ 校務分掌上、兼ねているもの

兼任	人数	%
特別支援コーディネーター	114	20.4%
初任者指導	36	6.5%
教育相談コーディネーター	21	3.8%
校務主任	4	0.7%
研修主事	1	0.2%
学級担任	0	0.0%
その他	29	5.2%
特になし	353	63.3%
合計	558	100%

岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
16	30	9	20	34	5	114
13	14	6	3	0	0	36
10	2	2	2	3	2	21
0	1	0	2	1	0	4
0	1	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0
10	2	2	3	7	5	29
121	65	40	30	53	44	353
170	115	59	60	98	56	558

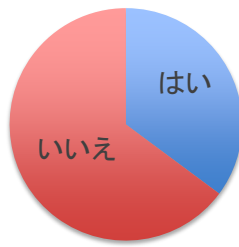
その他の内訳

- 外国人指導(6)
- 初任常勤講師指導(2)
- ICT担当(4)
- 命の教育の顧問(1)
- 教科主任(2)
- 部主事(1)
- 給食主任(2)
- 人権主任(1)
- 中体連盟理事(1)
- 学習部部長(1)
- 研究主任(1)
- 不登校支援コーディネーター(1)
- 食の安全・アレルギー対応(1)
- スクールカウンセラーに関する業務(2)

4:教頭の健康管理

4-① 適度な運動等健康管理の時間を確保できていますか。

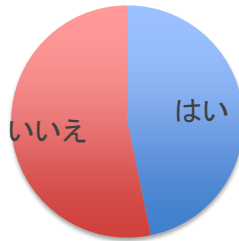
健康管理の時間確保	人数	%
はい	212	35.2%
いいえ	391	64.8%
合計	603	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
53	40	24	35	34	26	212
132	82	41	32	70	34	391
185	122	65	67	104	60	603

4-② 定期的に病院に通っていますか。

定期的に病院	人数	%
はい	282	46.8%
いいえ	321	53.2%
合計	603	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
88	60	30	33	42	29	282
97	62	35	34	62	31	321
185	122	65	67	104	60	603

4-③ 昨年度、人間ドックを受診しましたか。

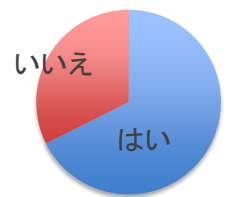
人間ドック受診	人数	%
はい	602	99.8%
いいえ	1	0.2%
合計	603	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
185	122	65	67	103	60	602
0	0	0	0	1	0	1
185	122	65	67	104	60	603

4-④ ③のうち、再検査になった方は再検査を受けましたか。

再検査を受けたか	人数	%
はい	236	67.6%
いいえ	113	32.4%
合計	349	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
63	45	25	32	50	21	236
31	19	15	14	17	17	113
94	64	40	46	67	38	349

4-⑤ ④で「いいえ」の方の理由は次のうちどれですか。(複数回答可)

再検査をしない理由	人数	%
忙しい	55	45.5%
迷惑がかかる	31	25.6%
必要性を感じない	31	25.6%
その他	4	3.3%
合計	121	100%

岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
15	12	8	4	7	9	55
11	3	3	3	6	5	31
6	3	6	2	6	8	31
0	2	0	0	2	0	4
32	20	17	9	21	22	121

5:勤務校について

5-① 朝の登校時刻は、何時から受け入れていますか。

小中学校

時刻	人数	%	岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
7:10以前	25	4.1%	2	8	6	2	5	2	25
7:15	15	2.5%	2	2	2	1	6	2	15
7:20	12	2.0%	1	0	1	4	2	4	12
7:25	7	1.2%	0	2	0	1	2	2	7
7:30	67	11.1%	9	9	7	4	9	29	67
7:35	23	3.8%	1	4	5	1	6	6	23
7:40	76	12.6%	19	15	9	13	9	11	76
7:45	133	22.1%	42	42	9	15	21	4	133
7:50	145	24.0%	59	25	14	17	30	0	145
7:55	27	4.5%	11	5	4	5	2	0	27
8:00	58	9.6%	29	7	7	4	11	0	58
8:05	2	0.3%	1	1	0	0	0	0	2
8:10	5	0.8%	3	1	0	0	1	0	5
8:15以降	6	1.0%	5	1	0	0	0	0	6
決まっていない	2	0.3%	0	0	2	0	0	0	2
合計	603	100%	184	122	66	67	104	60	603

5-② 勤務時刻は、何時からですか。

時刻	人数	%	岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
8:00	180	30.0%	32	42	25	11	14	56	180
8:05	56	9.3%	13	25	10	3	5	0	56
8:10	141	23.5%	43	37	13	25	22	1	141
8:15	204	34.0%	84	16	17	27	60	0	204
8:20	13	2.2%	11	0	0	0	2	0	13
その他	6	1.0%	1	2	0	0	1	2	6
合計	600	100%	184	122	65	66	104	59	600

その他の内訳

7:45(2) 7:50(2) 7:55(2)

5-①と②より 登校時刻と勤務時刻の差

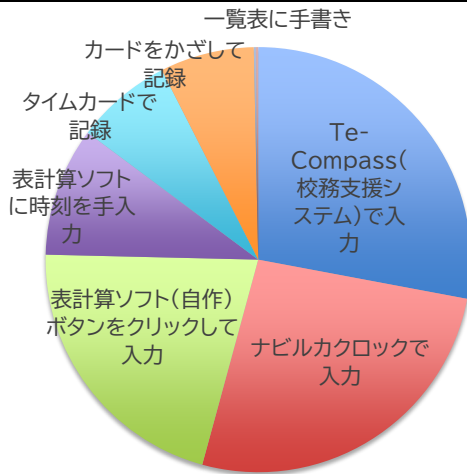
時刻	人数	%	岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
0:00	21	3.8%	10	6	1	1	3	0	21
0:05	7	1.3%	2	2	1	2	0	0	7
0:10	33	6.0%	8	10	4	6	5	0	33
0:15	87	15.8%	33	25	11	2	13	3	87
0:20	89	16.2%	28	23	8	10	11	9	89
0:25	119	21.7%	44	23	14	13	21	4	119
0:30	106	19.3%	31	9	9	15	19	23	106
0:35	28	5.1%	8	5	4	3	6	2	28
0:40	19	3.5%	2	3	2	3	5	4	19
0:45	19	3.5%	4	3	2	4	4	2	19
0:50	4	0.7%	0	1	0	2	1	0	4
0:55	5	0.9%	0	0	0	2	3	0	5
1:00	6	1.1%	1	0	0	0	5	0	6
1:05以上	6	1.1%	2	1	0	0	3	0	6
合計	549	100%	173	111	56	63	99	47	549

※～以降、～以上など計算ができない回答は省く

6: 労務管理について

6-① 教職員の勤務時間の記録はどのような方法で実施していますか。

勤務時間記録	人数	%
Te-Compass(校務支援システム)で入力	168	27.9%
ナビルカクロックで入力	158	26.2%
表計算ソフト(自作)ボタンをクリックして入力	127	21.1%
表計算ソフトに時刻を手入力	59	9.8%
タイムカードで記録	44	7.3%
カードをかざして記録	43	7.1%
一覧表に手書き	1	0.2%
顔認証システムで自動入力	1	0.2%
スマートフォンのアプリで入力	0	0.0%
未実施	0	0.0%
その他	2	0.3%
合計	603	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
37	12	37	29	3	50	168
102	3	26	7	13	7	158
22	51	0	10	43	1	127
4	8	1	2	44	0	59
11	27	0	6	0	0	44
9	20	1	13	0	0	43
0	1	0	0	0	0	1
0	0	0	0	1	0	1
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	2	2
20	48	1	19	1	2	91

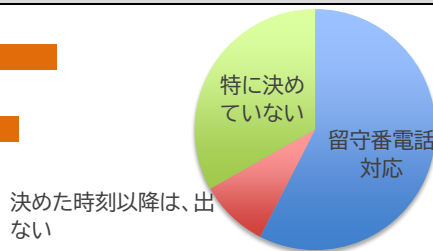
その他

タイムカードと表計算ソフトへの手入力の併用(2)

※ナビルカクロックは、Te-Comp@ssの勤怠管理機能である。

6-② 夜間や休業日の電話の応答を控えるようにしていますか。

電話応対対応	人数	%
留守番電話対応	347	57.5%
決めた時刻以降は、出ない	56	9.3%
特に決めていない	200	33.2%
合計	603	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
146	83	32	40	36	10	347
18	8	5	7	11	7	56
21	31	28	20	57	43	200
185	122	65	67	104	60	603

決めた時刻以降は、出ない

6-② 決めた時刻以降は、電話の応答を控えるようにしている場合の時刻

電話応対最終時刻	人数	%
18:00	146	37.6%
18:30	112	28.9%
19:00	120	30.9%
19:30	5	1.3%
20:00以降	5	1.3%
合計	388	100%

岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
50	41	11	25	13	6	146
61	18	7	15	7	4	112
42	29	15	3	25	6	120
1	1	1	0	2	0	5
2	1	0	1	0	1	5
156	90	34	44	47	17	388

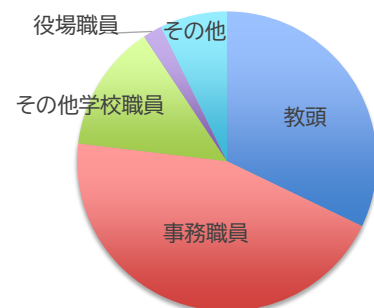
6-③ 決めた時刻以降は応対を控えることにしている場合の時刻

訪問応対最終時刻	人数	%
16:40以前	2	1.2%
16:45	3	1.8%
17:30	7	4.1%
18:00	65	38.5%
18:30	31	18.3%
19:00	51	30.2%
19:30	7	4.1%
20:00以降	3	1.8%
合計	169	100%

岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
1	0	0	1	0	0	2
0	0	2	0	0	1	3
1	2	1	2	0	1	7
22	12	7	9	9	6	65
10	10	3	2	3	3	31
15	19	6	1	9	1	51
1	1	3	0	2	0	7
1	0	0	0	2	0	3
51	44	22	15	25	12	169

6-④ 給食費未納の徴収は、誰が対応していますか。(複数回答あり)

未納徴収者	人数	%
教頭	313	32.1%
事務職員	436	44.8%
その他学校職員	134	13.8%
役場職員	20	2.1%
その他	71	7.3%
合計	974	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
90	54	33	26	88	22	313
151	100	47	56	50	32	436
60	27	11	20	7	9	134
1	0	1	1	1	16	20
17	12	10	4	19	9	71
319	193	102	107	165	88	974

その他の内訳

未納者がいない(60) PTA事務(11)

※その他学校職員は、担任(103)、徴収担当者(17)、学年主任(14)

※岐南町・揖斐川町・垂井町・山県市・神戸町は、給食費を市町で負担しているため、徴収をしていない。

6-⑤スリム化実現に向けて「運動会を午前中に実施」等、特色ある策を行っていただければ、記述してください。

○会議の精選(85)・職員会の持ち方の工夫(15)

- ・会議の精選(職員会を2ヶ月に1回) 職員会議は1時間以内とする。
- ・短縮日課、掃除なしの日、朝の活動をカットして、会議の時間を確保する。
- ・年間を通して会議の時間として5時間授業を位置付けている。
- ・会議時間の設定、厳守。会議資料の事前配布。
- ・会議のペーパーレス化、打ち合わせをタブレット端末、ホワイトボード掲示板などで行う。
- ・時間割をやりくりして、企画委員会、研推委員会等の会議を日中に実施。
- ・職員会議をなくした。運営委員会、学年会で共通理解を図っている。

○水曜日(62)・早帰り(42)・8のつく日(31)

- ・水曜日と8のつく日の早帰りの意識化。ノー残業DAYの設定。週に2回、5時間の日を設定。
- ・児童、生徒の下校時刻を早めた。
- ・早帰りの日は、各自の退校時刻を掲示物(ネームプレートなど)にして他の職員に示す。
- ・水曜日を特別日課にする。水曜日は部活動なし。水曜日は掃除なし。
- ・週に1度以上の早帰りの日を自分で決めて申告し、実行している。みんなで一斉にという仕組みから進化。
- ・会議のない日などに勤務の振り替え措置で早い時刻に帰宅できるようにしている。
- ・延長届けの徹底と最終退校者の決定
- ・「自分の為のリフレッシュ年休」を半期に1度は取る。

○日課の工夫(46)・行事の精選(部活動の在り方の改善)(22)

- ・日課の変更(朝の解錠時刻を遅らせる・下校時間の繰り上げによる業務時間の確保・短縮日課・午前に5時間授業を行う・掃除なしの日の設定・部活動なしの日を設定・朝活動の廃止・勤務時間の変更)
- ・学年始めなどの繁忙期は、児童生徒の下校時刻を早める。
- ・持ち時間数の削減、教科担任制。
- ・成績処理の時期は5時間授業で下校。
- ・儀礼的行事のスリム化(卒業式の形式の工夫)
- ・前期後期制にし、会計処理や成績処理の回数を減らした。
- ・年間の授業時数を標準時数に合わせる。
- ・部活動の2人顧問制。部活動を当番制で監督する。
- ・クラブ活動(部活動)などへの外部人材の活用。
- ・平日の部活動を勤務時間内の設定にする。平日の部活動の時間の短縮

○ICTの活用・情報の一元化(57)

- ・ペーパーレス会議や研修会、グループウェアでの連絡。
- ・各アンケートの-googleフォーム化、宿題のタブレット利用。
- ・検温、欠席連絡のICT化
- ・校務支援システムのメール機能を使うことで、終礼を省いている。

○研修等で職員のマネジメント力の向上を図る。(30)

- ・毎月中間点で、超過勤務時間を職員へ知らせ、残りの日数を考えながら仕事の見直しをもたせる。
- ・「みんなで考える働き方改革」の研修を実施。ウルトラワン運動に取り組む。
- ・超過勤務時間の見える化をし、勤務のマネジメントを呼びかけている。
- ・管理職、教務によるToDoリスト活用の働きかけ。
- ・単独で物事を担当せず、組織で対応する。
- ・計画的に年休を取得 一人10日以上取得を目指す。
- ・時間外勤務の書類申請。退校時刻の申請。

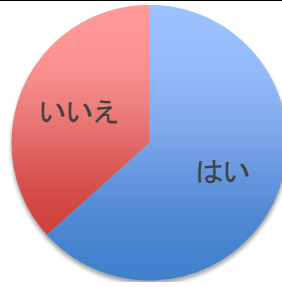
○その他

- ・校内掲示の簡略化(4)
- ・通知表の見直し(年1回作成 所見を減らすまたは、なくす)(3)
- ・テスト採点システム導入
- ・職員配置や持ち時間数の工夫、教科担任制。スクール・サポート・スタッフの有効活用。
- ・加配を配置していただき、担任の空き時間確保。その空き時間に教材研究や事務処理時間にあてる。
- ・時間の長短で判断しない。職員とよくコミュニケーションを取って、多忙感のない業務遂行を目指している。
- ・PTA業務の精選、縮小。資源回収ボックスの設置。
- ・基本的なこともままならない状況。逆行している。(2)

7: 職員の健康管理について

7-① 職員が産休や病休、看護休などをとりましたか。

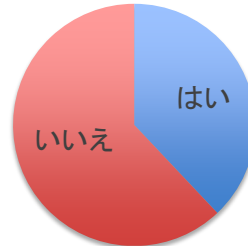
職員が休んだか	人数	%
はい	382	63.3%
いいえ	221	36.7%
合計	603	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
136	77	34	45	58	32	382
49	45	31	22	46	28	221
185	122	65	67	104	60	603

7-② 補充職員はすぐ入りましたか。

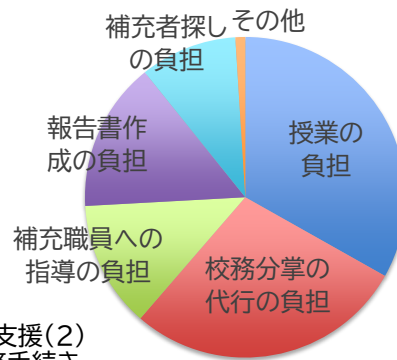
補充職員入ったか	人数	%
はい	145	38.0%
いいえ	237	62.0%
合計	382	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
37	32	15	17	26	18	145
99	45	19	28	32	14	237
136	77	34	45	58	32	382

7-③ ①で「はい」の方は、どのような負担がかかりましたか。(複数回答)

負担	人数	%
授業の負担	200	33.2%
校務分掌の代行の負担	170	28.2%
補充職員への指導の負担	77	12.8%
報告書作成の負担	91	15.1%
補充者探しの負担	59	9.8%
その他	6	1.0%
合計	603	100%



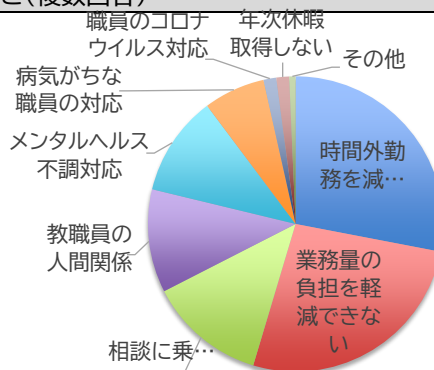
岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
79	39	17	22	34	9	200
67	32	12	23	24	12	170
27	15	8	8	15	4	77
35	17	7	11	9	12	91
25	12	3	8	8	3	59
4	0	1	0	1	0	6
237	115	48	72	91	40	603

その他の内訳

補充配置の調整(2)代行職員へのケア(2)児童支援(2)
 事案の事後対応、環境維持管理、担任代理、事務手続き

7-④ 職員の健康管理について困っていること(複数回答)

困り感	人数	%
時間外勤務を減らす事	441	28.0%
業務量の負担を軽減できない	419	26.6%
相談に乗る時間不足	202	12.8%
教職員の人間関係	178	11.3%
メンタルヘルス不調対応	173	11.0%
病気がちな職員の対応	106	6.7%
職員のコロナウイルス対応	22	1.4%
年次休暇取得しない	22	1.4%
その他	11	0.7%
合計	1574	100%



岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
143	90	39	48	73	48	441
132	85	41	45	72	44	419
61	40	18	21	39	23	202
60	40	20	14	31	13	178
54	45	16	21	28	9	173
45	19	11	7	18	6	106
9	3	1	2	6	1	22
12	3	1	0	4	2	22
5	0	1	0	1	4	11
521	325	148	158	272	150	1574

その他の内訳

担任の保護者対応能力の育成(3)
 職員の業務への意欲付け
 講師・再任用・若手の割合が高く分掌負担の偏り解消が困難
 教頭の負担増加(3)

8:要望事項(教育の諸条件改善、教頭の処遇改善)

8-①職員調書作成時に使用する「人事給与システム」についての要望はありますか。(複数選択可)

人事給与システムへの要望	回答数		岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
ク 新年度更新時に家族の年齢も自動で更新してほしい。	344	57.0%	136	89	32	41	31	15	344
ケ 年齢の入力は廃止して、誕生日入力にして、年齢は自動計算で表示してほしい。	282	46.8%	105	67	31	32	33	14	282
エ 表示順を自動並べ替えしてほしい。	254	42.1%	107	78	27	27	9	6	254
キ データを生かして、学校基本調査などに活かせる統計を出力してほしい。	247	41.0%	84	52	30	32	31	18	247
ウ 兼務職員も表示できるようにしてほしい。	222	36.8%	94	53	30	20	17	8	222
オ 計算のような一覧で入力できるようにしてほしい。	221	36.7%	100	55	20	23	16	7	221
コ 入力文字数の制限を廃止し、フォントサイズを自動調整して印字されるようにしてほしい。	198	32.8%	92	47	21	19	12	7	198
イ 入力文字数に制限のある「その他」を廃止し、必要項目の入力欄を設けてほしい。	167	27.7%	80	41	15	13	13	5	167
カ 表計算データと入出力ができるようにしてほしい。	125	20.7%	58	27	13	16	7	4	125
ア PDFを高品質にしてほしい。	58	9.6%	31	6	9	7	4	1	58
その他	167	27.7%	80	41	15	13	13	5	167
合計	225		111	47	24	20	17	6	225

その他の内訳

○職員調書の作成期間について

- ・提出日まではログインできる時間帯を長くしてほしい(12)
- ・締め切り日が早く休日返上で作業することになるため、作業日は十分に確保してほしい(2)

○人事給与システムの入力や出力について

- ・名前が外字の人も正しく表記してほしい(5)
- ・所有免許等で出力時には上位免のみ表示されるようにしてほしい(4)
- ・常勤講師や臨時的任用職員、会計年度職員も入力できるようにしてほしい(3)
- ・すべて入力できるようにして、手書きの追加や修正がなくなるようにしてほしい(2)
- ・講師歴など昨年度のデータが消えないようにしてほしい(1)
- ・分掌等を選択式にほしい(1)
- ・校務分掌、自動車運転免許証期限、勤務形態など余裕をもって文字入力できるようにしてほしい(1)
- ・所有免許の正しい入力を済ませておいてもらいたい(1)
- ・育休など自動で反映されて朱書き表示されるようにしてほしい(1)
- ・給与データ表を一括印刷できるようにしてほしい(1)

○職員調書や人事給与システム自体について

- ・県立学校のように自分で入力してもらいたい(2)
- ・同じようなことを聞く調査が数多くあるので、人事給与システムにない情報のみ調査するようにして、現場の負担を減らしてほしい(1)
- ・確認だけになるよう人事情報を一元化してほしい(1)
- ・印刷提出しなくても教育委員会が端末で閲覧したり、必要ときに印刷するシステムにほしい(1)
- ・やり直しで勤務時間が延びストレスとなったので、人事給与システムが開かない、保存できなくなるなど故障のないようにしてほしい(1)

○人事給与システムの権限について

- ・人事給与システムに教頭のパソコンから入れるようにしてほしい(3)
- ・変更の手続きを管理職権限でできるようにしてほしい(1)
- ・複数教頭が配置されている場合に両方がログインできるようにしてほしい(1)

8-② 教頭として強く要望したいことを次の項目から5つまで選んで、記号を○で囲んでください。

強く要望したいこと	人数		岐阜地区	西濃地区	美濃地区	可茂地区	東濃地区	飛騨地区	合計
ア. 児童生徒の安全確保のための具体的な措置の充実	243	40.3%	73	54	25	27	35	29	243
イ. 管理職手当の改善	159	26.4%	52	30	17	20	26	14	159
ウ. 通勤手当の改善	45	7.5%	8	9	6	4	10	8	45
エ. 教職員の旅費支給の増額	51	8.5%	14	14	6	5	9	3	51
オ. 教育相談担当職員の加配	305	50.6%	99	56	33	33	54	30	305
カ. 免許外指導解消のための教員の加配	236	39.1%	64	54	21	31	45	21	236
キ. 生徒指導、不登校及び外国籍の児童生徒等。児童生徒支援のための教員の加配	445	73.8%	142	88	47	58	74	36	445
ク. 指導法工夫改善(少人数指導等)のための教員の加配	250	41.5%	79	52	26	30	40	23	250
ケ. 学級定員(児童生徒数)の改善(35人学級→30人学級)	314	52.1%	84	69	39	30	57	35	314
コ. 教員配当基準の改善	356	59.0%	121	70	35	36	57	37	356
サ. 現在の教頭を副校長として任用すること	15	2.5%	8	1	1	0	3	2	15
シ. その他(下記)	37	6.1%	13	4	1	7	3	9	37
	2456		757	501	257	281	413	247	2456

その他の内訳

○人員確保について

- ・教職員不足を解消、定数の職員を必ず配置していただくこと(5)
- ・当欠職員の補充(1)
- ・退職にかかわる再就職・再任用等の詳しい説明や待遇面での説明(1)
- ・60歳以降も、役職のまま勤務する事(1)
- ・教師のなり手を増やすような、ブラックなイメージを払拭する施策を進めること(1)
- ・様々な問題を抱える児童へ対応をする職員が不足しており、そこを教頭が担うことによる勤務時間の増加の問題(1)

○職員配置・加配について

- ・教職員全体の人数を増やしてほしい(3)
- ・ICTに関わる職員の加配(2)
- ・どの学校も教頭を2人体制にする(1)
- ・理想は1クラスを担当、副担任の2人で指導できるとよい(1)
- ・教頭が授業を持たなくても学校がまわるような人員配置(1)
- ・激増支援加配を再開してほしい(1)
- ・複式学級の数だけ「複式学級解消加配」がほしい(1)

○働き方改革、仕事量・勤務の適正化について

- ・閉庁日の増加(1)
- ・教頭業務の削減(1)
- ・オンライン研修を増やしてほしい(1)

○教育課程、学級の定員について

- 特別支援学級や、特別支援学校の1学級における児童生徒の人数を減らす(2)
- ・教育課程の合理化、標準授業時数(中学校1015時間)を減らしてほしい(2)
- ・特別支援学級新設の増加(1)
- ・40人学級にしてフリーになる教員を個別指導にまわす(1)

○学校への支援について

- ・県で統一したICT環境の整備(2)
- ・老朽化した校舎の修繕を素早くし、毎年同じ要望書を毎回提出させる無駄を省きたい(1)
- ・保護者等のクレームに対応するため、法律等に詳しい弁護士を、市町単位等で配置できるとよいのではないかと(1)
- ・電話の録音機能・留守番電話対応時間を市町として出してほしい(1)
- ・校地、校内の環境整備の人員の任用(1)
- ・学校運営協議会や家庭教育学級に対しての行政支援(1)
- ・アンケートや提出書類の多さが職員の働き方改革になっていない(1)

○手当・待遇について

- ・教職員の地位向上のため、教職員の基本給の増額(2)
- ・時間外勤務手当の支給(1)
- ・国が、教育予算を2倍にして教員の給料を2倍にするか、教員の仕事を半分にするか、のどちらかをしてほしい。そうでないと、若者が教師になりたがらず、現場の人手不足は続き、現場が疲弊し、教育が荒廃し、子どもと日本の将来は悲惨なものになる。(1)

8-③ 教育の諸条件改善や教頭の処遇について、改善策のアイデアがある方は、お書きください。

【教職員の人数確保】

- ・教育実習期間の延長。現場経験を増やすことで、採用時に対応できる人材育成。現場の人手不足の解消にもなる。
- ・講師経験者で優秀な方は自動採用とする。(ある一定のレベルに達する・経験年数等)
- ・給与体系を改善し魅力ある職種になるといい。大学3年生の11月ごろには採用試験の結果が得られていると優秀な大学生の選択肢の一つになると思う。3年生の6月ぐらいから就活は始まっているのに公務員の就活の始まりが遅すぎて選択肢にもなっていない現状である。
- ・産休教諭が一定数いることを見越して、採用人数を増やしていく。(講師不足解消)
- ・教職員配当基準の改善。
- ・現行の給特法を廃止し、時間外勤務手当を拡充。
- ・行政や博物館などに行っている教員を現場に戻す。各学校に担任をもたず、生徒指導等臨機応変に動ける立場の人を1人ずつ配置するだけで、かなり業務改善になる。

【職員配置の改善】

- ・主幹教務の業務が、現在生徒指導が主な役割になっている。他県では副教頭の位置づけになっており、岐阜県でも副教頭の位置づけで校務を行うとよい。
- ・事務職員を増やし、教師から事務的業務、会計業務等を切り離し、授業に専念できるようにする。
- ・教頭が校務主任を兼ねることが多いが、市費で専門の職種を置く。
- ・草刈り、運動場整備を外部委託する。環境整備のための用務員を1名増員する。
- ・高等学校のように事務部で会計等の事務処理を行えるようにしていく。各学年会計も同様に見えると思う。
- ・全ての学校の教頭を2人にする。もしくは、副校長を必ず配置する。
- ・学校規模にかかわらず、「ぎふ いのちの教育」の充実に向けて、教育相談担当者や生徒指導主事の加配をいただきたい。実際は、教育相談を養護教諭が兼ねていたり、生徒指導主事が担任をもっていたりするため、教頭がはじめから対応することも多い。
- ・1学年2クラス規模の中規模校の常勤職員がぎりぎりの状態である。生徒指導主事はクラスをもたない教諭が担当するように配置する。
- ・ICTの専門家、補充やサポートに入るスタッフ、サポートスタッフを増やす。

【業務改善】

- ・学校業務の線引きを国や県で統一し、地域や保護者に周知する(学校に委ねない)。
- ・社会の意識の醸成、職員自身の意識の醸成(何でも学校・責任転嫁など)
- ・家庭の問題を学校での対応からはずす(先日の回転ずしのSNSアップ事件で、学校に苦情がくるのはおかしい。SNSのトラブルも学校で解決に向かうのは、膨大な聞き取りをしなくてはならず大きな負担。携帯端末を持たせているのは家庭の判断なので、当事者同士、解決できなければ警察等で処理してもらう。)
- ・教員の担うべき業務と、外部機関が担うべき業務の明確化と実施、学校外の対応を教員が行わない。
- ・本来、家庭や社会教育で行う内容(しつけ、マナー、防災教育、情報教育、金融教育など)を学校から切り離す。
- ・時間外勤務を減らしていくために、積極的に教科担任制を小学校でも導入して行く。
- ・チーム制の学級担任、学級担任の持ち時間減を図る。
- ・標準時数を減らして、5時間授業で指導できるようにする。放課後の仕事をする時間を毎日確保できれば、勤務時間内の業務がうまく進められる。
- ・特別支援学級は学年が様々で一人一人の特性に合わせた指導が必要である。担任・副担任配置等、教職員の配当基準を見直すか、学級定数を8人から5人に減らす。担任の負担軽減につながる。
- ・8:15~16:45を勤務時間とするならば、生徒は、9:00~16:00とするなど、職員より短い生徒の在校時間の設定。
- ・警察、福祉など市の専門機関との連携をスムーズに行えるようにしていく。
- ・宿泊研修の外部委託化。
- ・会計処理は委託するなど、スクールサポートスタッフを継続的に雇う。
- ・給食費管理を市で行う。
- ・給食と掃除の時間に外部人材を依頼するなどして、担任の休憩時間を確保する。

【業務負担軽減】

- ・紙ベースのもののデジタル化。
- ・基礎力向上のためのタブレットを使用してできるドリルの導入。授業で使用するソフトと連動した成績処理ソフトの導入。
- ・校務支援システム、生徒用タブレットデータの共通クラウド化。よりよいシステムになるように情報共有とハード面の改善を年ごとで行えるようにする。
- ・アンケートなどを、webあるいはグループウェアでの共有にしていく。
- ・作品募集、イベントなどの紹介は、教育委員会などでサイトをつくり、そこから選んだり、応募できたりするようにする。各学校に多くの作品募集が来て、配布、回収、ものによっては学校で印刷するものもあり、大きな負担。調査も何年も続いているのなら、教育委員会のサイトなどを通じて回答できるようにしていく。
- ・色々な組織からの調査報告依頼、申請等が多い。連携という名のもとにさまざまな調査、報告を学校に回すのではなく、それぞれの組織が活動を見直す必要がある。
- ・調査類は極力減らす。
- ・メール文書の削減 最低限必要なものだけにする。
- ・報告文書・提出文書を、学校基本調査のように全てWEBでできるようにする。
- ・PTA組織や関連業務の縮小を図る。
- ・留守番電話の設置。
- ・市、県等が連携した人給システムの自動化。自動で更新できる項目は自動で更新するようになれば、入力に係る時間を縮減できる。
- ・職員調書を県費と市費関係が統一のシステムで対応可能とする。職員調書の病休など自動的に赤字になるようにすること。
- ・今年度はセンター研修の申し込みで非常に時間がかかったので、よりよい方法を検討してほしい。(悉皆がどれなのかかわかりにくかった。)
- ・県でデータ管理(フォルダの構成やファイルの名前の付け方など)を統一し、異動に関わる負担を軽減する。
- ・教頭に校舎の建築の上のチェックや、老朽化の判断をさせず、建築のプロの目で見た判断を仰ぎたい。

【働き方改革推進】

- ・教頭職の働き方改革について、教頭会として焦点を当てる。
- ・教頭同士に加え、異業種の管理職との対話で、働き方改革の具体を知る機会を設ける。
- ・教員の多忙化が問題になっているが、教頭や担任が、いくつの仕事を受け持っているかを明らかにする必要があると考える。その後、精選していくとよいと考える。

【待遇改善】

- ・夏休みのお盆周辺10日間、冬休みの10日ほど、秋休み5日程度など、児童生徒が来ない日は閉庁日として、誰も出勤しなくてもよくする。なかなか年休がとれない分、ここで確保する。
- ・休み等は十分取れるよう、体制として強要していただきたい。教頭の立場でも、休み、休息をとりやすくする。
- ・児童数が800名を超える、または、学級数が24以上ある学校の教頭は授業を持つことのないように配慮する。
- ・担任、学年主任、指導部長、教務主任、生徒指導など仕事内容によって給与に差をつけていく。担任をやりたくないと言ってしまふ状況をなくす。
- ・教育に先進国平均レベルの費用をかける。
- ・愛知県との格差の早期是正。自分の子供が先生になりたいと思うような働き方改革。
- ・一般企業が物価高対策として賃金アップを実施しているため、教職員も同様の待遇改善の対象とする。職員が1人、2人と休んだだけでてんでこ舞いになるような組織の人員体制では、子供たちが落ち着いて学べる場とは言えない。
- ・残業の法的位置付けの早期明確化(残業代を含めて)
- ・教職員特別手当を廃止して、時間外勤務手当を実務分100%支給すること。働いた分だけ報われる給与システムを作り、教職員の仕事としての働きがいや魅力を上げていく。
- ・公務員と同様残業手当(条件付き)の支給。教頭職は58までとし、残されたスタイルの時間の確保。現行の60才、61才時は教諭とするのは難しい。
- ・定年延長による役職定年に関わる教職員(元校長・教頭)に教頭補佐や教務主任補佐などしてもらえる仕組みができるとよい。
- ・県職員の予算と市町の予算の公平及び透明化。
- ・ガソリン代が高騰しているので、通勤手当を見直す。

【その他】

- ・地域によって、登用・昇進の仕方に差があることの改善(本来実力で選考されるべき)
- ・小中両方の免許が無い職員でも積極的に管理職に登用していく。